

自己実現 2019

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

[2019年の幕開け]

明けましておめでとうございます。新しい年が幕を開け、71回生のみなさんにとっての勝負がいよいよ始まります。「受験生」という境遇は決して楽しいものではありません。それを楽しむだけの余裕があればいいのですが、たいていは心の中にふつふつと湧いてくる不安に打ち勝つために、悪戦苦闘していると思います。しかし、不安を感じない受験生はいません。不安と共存し、自分だけではなく誰もが感じていることだと達観できる受験生が合格に近づくのです。不安に押しつぶされた挙げ句の出願は、いろいろな意味で良い結果をもたらすことはありません。今こそみなさんの強い信念と「第一志望」への熱い思いが必要です。そして「覚悟」を決めてセンター試験に向かいましょう。

神戸高校での生活も残りわずかとなりました。みなさんを応援している家族や先輩・後輩に感謝の念を抱きながら、何よりも自分のために、残された高校生活に全力を尽くしてください。

[センター試験プレテスト自己採点集計結果]

得点分布表は掲載しておりません

センター試験プレテストの自己採点集計がまとまりました。本日、個人成績票を返却します。今回の結果に一喜一憂することなく、補うべき部分を今一度確認しましょう。本番でさらに飛躍できることを願っています。

[センター試験直前・各教科(科目)別アドバイス]

今回は、週末に迫った本番に向けてのアドバイスを各教科(科目)の先生方からいただきました。よく読んで、頭と心の準備をしておきましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

〈国語〉 残された時間の取り組み次第で効果を上げることができるのは、古典分野。特に漢文の「句法」の最終確認を。古文は単語力の強化と、「敬語法」や「識別に必要な基本文法」。現代文の漢字・語彙も含め、知識問題は早く正確に解けるように総復習しよう。

並行して、これまで通り毎日演習を続ける。本文中に明確な解答の根拠を持って解答を考えることが大切。センター試験形式の問題を解く勘を鈍らせないようにしよう。

【当日の心得】

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 時間配分に注意せよ！ | ② リード文と注は大ヒント！ |
| ③ 読みながら書き込め！ | ④ 設問の意図を正確に把握せよ！ |
| ⑤ 語句・文法力で確実に得点せよ！ | ⑥ 長い選択肢は攻略ポイントを絞れ！ |
| ⑦ 自分の読み取りを信じろ！ | ⑧ 迷ってもとりあえずマークせよ！ |

*終わったら国語を振り返るな！

〈数学〉 まず、「数学Ⅰ」と「数学ⅠA」、「数学Ⅱ」と「数学ⅡB」の選択になっています。あわてて、「数学Ⅰ」や「数学Ⅱ」の方を解答してしまわないようにします。

出題パターンは大きく変わることがないので、時間配分のイメージをしておきましょう。ⅠA、ⅡBともに60分にはかなりの量が出題されます。各問の前半のミスは大きく響くので落ち着いて、できるなら素早く確認をし、各問の後半は、難問の場合もあるので行き詰まったとき時間をとり過ぎず、次の問題に進む決断も必要です。満点でなくてもいいので解ける問題を確実に得点にすることを優先します。各分野ごとでは、まだ不安な公式・定理を確認して臨みます。

『数学ⅠA』のポイント

「データの分析」では、用語、定義、公式を確認。分散・共分散・相関係数の定義の式は大丈夫ですか。データの変換 $Z=aX+b$ としたときの分散、共分散がどのように変わるかもよく聞かれます。

「場合の数と確率」は、その問題の設定・ルールを正確に理解して順に進めることが大事です。そのルールに入り込めば解法は見えてきます。最後は、条件付き確率がよく問われます。条件の事象は何かを見極め、 $P_A(B)$ は、 $P(A \cap B) \div P(A)$ なので、この2つを落ち着いて求めれば解決します。

「図形の性質」は、方べきの定理・接弦定理・チェバ・メネラウスの定理がよく狙われます。次々と角や長さ・比が求まり追加していく構成なので、混乱したら改めてわかった数値で図を書き直すことと見えてくる場合があります。

「整数の性質」は、1次不定方程式の整数解が頻出なので確認し、n進法とユークリッド互除法も押さえておきます。

『数学ⅡB』のポイント

三角関数では、合成が頻出、ミスなくこなす、対数は、底の値による大小関係。微積分は、接線、増減を調べての最大最小、面積が必須、いずれも計算力の見せ場です。図形と方程式やベクトルでは、図をしっかりと書き俯瞰して眺め、垂直や大きさ(距離)などに着目して式を起こす。数列は、等差、等比、 Σ 公式、部分分数分解、階差、 $S-rS$ のうち、どれを使う数列の問題かを見極めます。

全体的には、行き詰まったときこそ、考えをリセットし、基本に戻って突破口をみつけ、頑張りぬいてください。

〈英語〉 プレテストでの時間配分はうまくいきましたか。再度、時間配分と自分にとって解きやすい順番の確認をしておきましょう。また、今回のプレテストに関しては、取れた点数のことよりも、まだ覚えきれていなかった部分を発見できたことに重点をおいて見直しましょう。リスニングも、『どのタイミングで』問題冊子に書かれている英文に『どの程度』目を通しておくのかをもう一度確認しておいて下さい。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

今から点数アップを目指すのに一番効率がよいのは第1問発音アクセント、そして第2問文法問題。「頻出ルール別発音・アクセント」「GRAMMARMASTER」を見直しておきましょう。今から新しい問題をどんどん解くよりは、これまでに解いた模試、実力考査等を中心に、自分が覚えきれていないものをチェックし直す方が効率的です。

そして、当日は「臨機応変」に！開始直後に全体の設問形式を把握して時間配分の微調整をしましょう。問題に少しの変化があったり、各設問に予定の時間以上かかってしまっても、決して焦らず着実に「取れるところを取る！」パニックになって途中から英文が全く頭に入らないよりは、数問手を付けられないものがあったとしても、落ち着いて解答する方がずっといいはずですよ。

残り10日間、毎日長文を読み、リスニングのために耳慣らしをしておいて下さい。とにかく英語から離れないことです。

〈物理〉 本番までは、今までやってきたことの見直しに徹してください。「センター試験直前演習(第6回まで)」やプレテスト、マーク模試、問題集(リードα)などで間違った問題や教科書で「？」と思うことについて、解説や教科書などをよく読んで消化しておくことが肝心です。原子分野は基本的な事項を教科書で押さえておきましょう。

本番では、時間配分を考えながら、解ける問題から確実に解きましょう。大問1(小問集合)や得意分野の問題ばかりに気をとられない(時間を使わない)ように気をつけてください。早とちりや計算ミス、マークミスには細心の注意をしてください。

〈化学・化学基礎〉 難易度の差が大きい出題が考えられるので時間配分を考えながら解答していくことが大切です。大問1, 2が「気体・溶液、熱化学、平衡、酸・塩基、酸化・還元、電池・電気分解」といった計算中心の分野になる可能性が高いので、計算に手間取り時間が足りなくなるようなことは避けましょう。大問3以降の無機・有機分野対策として、「無機・有機分野の暗記すべき内容」をもう一度復習しておきましょう。大問3以降でいかに短時間で解けるがポイントとなります。

特殊な取り組み方になるかもしれませんが大問3以降から手を付け時間に余裕をもって大問1, 2に取り組むのも有効です。

以下のような頻出ポイントは完璧に押さえておき、即答できるようにしましょう。

- ・沈殿の分離 特に S^{2-} で酸性 CuS (黒)、中・塩基性で ZnS (白)
- ・再溶解反応 特に NH_3 で Ag、Zn、Cu の沈殿が再溶解
- ・エタノールと濃硫酸 130~140°C でジエチルエーテル、160~170°C でエチレン
- ・ベンゼンと塩素 Fe 触媒でクロロベンゼン、光でヘキサクロシクロヘキサン
- ・ナトリウムフェノキシドと二酸化炭素 水溶液でフェノール、高温・高圧でサリチル酸 Na
- ・アセチレンと水 アセトアルデヒド
- ・サリチル酸からサリチル酸メチルとアセチルサリチル酸
- ・ビニロン、PET、ナイロンの合成
- ・大問2までの頻出項目としてルシャトリエ ルシャトリエは何らかの形でほぼ100%出題

〈生物〉 時間配分をよく考えて慌てず解答しましょう。しっかりと問題文を読み取り、文章選択の選択肢には複数の要素が含まれているものがあります。正しい部分、誤りの部分が両方含まれるものがありますので注意深く読み取りましょう。問題集のまとめの部分や教科書を使って、自信のない分野は必ず知識の整理とおさらいをしておきましょう。諸君には考える力は十分にあります。考察問題では読み落としさえなくせば解答にたどりつけます。知識の不足で解答ができなくなるようなことがないように最後は知識の整理をしてください。健闘を祈ってます。外科医のポーズで落ち着きましょう(TK)。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈物理基礎〉 本番までは、「センター試験直前演習(第10回まで)」やプレテスト、マーク模試、問題集(ベストフィット)や授業で配布したプリントなど、今までやった問題の見直しを中心に学習してください。本番では、問題文をしっかりと読み、早とちりや計算ミスに気をつけて、解ける問題から確実に解きましょう。

〈生物基礎〉 センター試験の範囲はあくまでも教科書の本文です。問題をやりながらも、教科書のどこに載っていたか、あるいは普段使っている本のどのページだったかが頭に浮かぶようになると良いですね。選択肢の文はしっかりと読むでしょうが、リード文や設問文も最後まできちんと読みましょう。特に、「なお」とか「ただし」からの文は要注意です。問題を解く上でのヒントになっている場合が多いですから。大問一問が終わるごとに、1回深呼吸をしてみるのも良いですよ。

〈世界史〉 地図・文化史・年代整序問題等が受験生の穴である。世界史上の重要都市・国・地域の位置を地図上で確認する、建築物や絵画等の写真を時代や様式と共に覚える、重要年号を詰め込む等、まだできることはある。試験は20~30分で解き終わる。残りを見直しの時間に。問題文をしっかりと読んでるか?読み落としは無いのか?時代を勘違いしていないか?「正文を選ぶ」の所で誤文を選んでないか?初歩的だが、緊張状態では思わぬミスをする。

〈日本史〉 センター試験直前でも日本史は1時間でも2時間でも勉強すれば、確実に成績は伸びます。過去問や模擬試験をやれば、どの時代がどの分野が苦手なのかよくわかります。その部分を何回も何回も教科書で確認するのはです。本番では、わからない問題はじっくり考えたところでわかりません。それよりもわかる問題をいかに間違えないかが大切です。

正誤問題は、正しいものを選ぶのか誤っているものを選ぶのか、文章の読み違えが結構あります。あるいは内容は正しいが時代が違うとかがあります。問題文をじっくり読むことです。時間はかなり余裕があります。それと史料(資料)・グラフ・図表の問題も日本史の知識がなくても時間をかけて読めば解ける問題が多いです。頑張ってください。

〈地理〉 もう一度気候区分を見直す。基本に戻って簡単と思われる所も確認しておくこと。地図帳や図表を見ておくこと。そこで気付いた点を手持ちの教科書や参考書、インターネット等を利用してちょっと調べておくこと。健闘を祈ります。

〈政経〉 問題演習を嫌というほどこなしてきて、苦手分野の把握はできているはず。そこを再度見直そう。教科書レベルの知識を基礎に、様々な推論ができれば道は開ける。知識を問われる問題ばかりではないので諦めないように。

〈倫理〉 しっかり食べる。しっかり寝る。そして法然の「専修念仏」のように集中して最後までしっかり勉強。センター倫理出題5分野の苦手・ブライント分野を問題集の解説・教科書・図説等で解消する。「学問には平坦な大道はない。学問の険しい坂道をよじ登る労苦を厭わない者だけに、その明るい頂上にたどり着く見込みがある」 K・マルクス

[後記]

「備えあれば憂いなし」という諺があるように、事前の入念な準備は欠かせませんが、人生何が起こるかわかりません。センター試験では、病気や負傷、その他やむを得ない理由で試験を受験できなかった場合は、追試験が受けられます。追試験は1/26(土)・27(日)に京都教育大学(西日本地区)で実施されます。申請方法等は、「受験上の注意」に記載されています。事前に確認しておきましょう。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。